

題材名 「青春の1ページアルバムづくり」

目標

- ・ソフトウェアを活用して、基本的な情報の処理ができること。
 (ワープロソフトを活用した学校行事のアルバムづくりを通じた創造性の向上)
- ・ワープロソフトを活用し、情報の収集、加工、編集、発信の一連の情報処理ができること。

コンピュータを活用する利点

- ・校内LANやインターネットの活用を通して、コンピュータやネットワークの利用形態がわかる。
- ・画像処理、文書作成・校正編集等の作業が自由に容易に行え、創造性や構成力が身につく。
- ・毎時間の取り組みを、各自のフォルダに残すことにより、「振り返り」や「取り組み」が確認できる。(ポータルフォリオ的な学習記録)

授業の流れ(単元全体)

全体の授業構成の中での
ICT活用の位置

目標を知る
活動内容の指示を受ける

作品の構想を練る

資料の収集をする
・校内LANの活用
・インターネットの活用

ワープロを活用し、作業
をする
(加工・編集・校正)

保存・印刷・ネット加工

作品の発表をする
(掲示・発表・評価)

授業の流れ(の授業展開)

「サーバにフォルダを作成する」
の例

- (1)インターネットしくみの概要
- (2)学校内LANの概要
- (3)コンピュータネットワークの種類
- (4)サーバへのアクセスの手順
- (5)階層構造とパス
- (6)フォルダの作成
- (7)必要なデータのフォルダへの保存と確認

ICT活用場面

生徒達がコンピュータを活用して、自分の発想や創造を、身近な材料をもとに、作品として残せるように取り組ませることに目的を
おいた。

パソコンや携帯電話が十分普及した現在、インターネットや種々のソフトウェアの利用は中学生にとって抵抗はない。融合的に活用することは、情報の扱いの意識や技術を高めるもである。



一方、家庭では「LAN」という仕組みについて、直接意識することがない。インターネットを使うことは出来てもその功罪について深く意識することはほとんどない。そこで、本授業を通して、学校内LANをモデルに、データの共有やセキュリティ、さらには、著作権についての基礎学習を行った。

また、毎時間の取り組みとして、自分のフォルダをサーバに作らせそこに保存させることによって、自分の作業の進捗状況や技術的なことの振り返り、改善したことなどの確かめが行えた。

情報の発信(プレゼンもそのひとつと考えている)についても生徒に意識させた。作品は、光沢紙に印刷しラミネート処理。期末懇談時に校内に掲示し、保護者の方にも見ていただく機会を設けた。

成果と課題

自分にとって何を他の人に伝えたいか、この作品にはどのような情報が必要なのか、どのような構成にすれば伝えることができるのかを考えさせる絶好の機会となった。(情報の取捨選択・発信)取り組みを記録することによって、まとめ方、技術的なことなどを振り返りながら、情報の扱いについて深めることが、不十分ながらもできた。

情報の処理は、コンピュータ活用以前に図書・新聞・雑誌などの活用・読みこなしなど基礎的な能力があって、行えるのではないかと感じている。

しかし、今回の授業では、色づけ、フォント、写真を多用するなど、ワープロの機能の使い方に偏った感があることも事実であり、十分に目的を達成できたとは言えない。



ICT活用環境

使用周辺機器	デスクトップパソコン, プロジェクタ, スキャナ
使用ソフト名	Microsoft Word, 一太郎, Internet Explorer, ^int
使用教室	コンピュータ教室